

# くしろ 男女平等参画通信

ともに創りあげる社会をめざして

Vol. 33

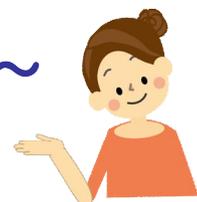
発行日：平成 22 年 12 月 2 日



〒085-8505 釧路市黒金町7丁目5番地  
釧路市総合政策部市民協働推進課

TEL 31-4504 Fax 23-5220

## 釧路市男女平等参画推進条例 ～パブリックコメントの結果概要をお知らせします～



○意見の募集期間 平成22年10月8日(金)～平成22年11月8日(月)

○意見の件数(意見提出者数) 29件(8人) ※意見の概要は下記のとおり

○意見の取り扱い

○意見の提出方法

反映	案に反映するもの	0件
既記載	既に案に盛り込んでいるもの	2件
参考	今後の参考とするもの	2件
その他	意見として伺ったもの	25件

電子メール	1人
郵送	0人
ファクシミリ	7人
直接持参	0人



○意見の概要

♪北海道男女平等参画推進条例と同様に「男女平等参画の推進に関する活動を支援するための拠点となる施設を設置する」ことを明記して欲しい。(同様のご意見が8件ありました)

⇒【釧路市の考え方】条例施行(平成23年4月1日予定)後の男女平等参画推進の理念の市民周知などの状況を踏まえ、施設の運営体制等も含めた検討が必要と考えています。

♪事業者「男女平等参画推進」の考えや事業者の責務を理解してもらい、さらに一歩進んだ取り組みを進めてもらうために「市と取引関係にある事業者及び市から補助金の交付を受けているものに対し、事業者等の男女平等参画推進状況について届出あるいは報告を義務付けること」を明記して欲しい。(同様のご意見が4件ありました)

⇒【釧路市の考え方】いきなり届出や報告の義務を課すことは適当ではなく、まずは、条例の理念を広く市民に浸透させていくことが重要と考えています。

♪「男女平等参画」という表現がなかなか市民には受け入れられにくいと思うので、愛称をつけるなどの工夫をして欲しい。(同様のご意見が3件ありました)

⇒【釧路市の考え方】釧路市では、条例に先立って策定したプランも「男女平等参画プラン」とし、「男女平等参画」を前面に出して取り組みを進めてきていますので、この理念をさらに広く市民に浸透させるためにも条例の名称はこのままで、その周知・普及に努めることが適当であると考えています。ただし、わかりやすく親しみやすい条例となるよう、愛称などの工夫をすることを検討したいと考えています。

・・・愛称募集等については、改めてお知らせいたします・・・



★いただいたご意見を検討した結果、一部文言等の修正を除き、素案どおりとし、12月市議会に提案いたします。

※ご意見の多かったものを中心にその概要をご紹介します(実際のご意見と細かな文言等は違います)。  
釧路市ホームページ(<http://www.city.kushiro.hokkaido.jp/>)では、その他のご意見の概要についても紹介しています。

## 平成22年度釧路市道外女性派遣事業 参加報告 ～ 鎌田静子さん、仲田元子さん ～

【派遣期間】平成22年8月26日～29日（26日は移動日）

【派遣先】国立女性教育会館

【報告概要】



★参加シンポジウム・ワークショップ等

27日(金) シンポジウム「未来へのメッセージ～男女共同参画社会への展望 一歩先に進むための関係づくり～」

ワークショップ「武蔵野市の男女共同参画ー私たちに課せられたこれからの取組み」  
ワークショップ「日本の有機農業の母、唐沢とし子さんの50年にわたる活動のお話」

28日(土) ワークショップ「あなたのジェンダーを超えて」

ワークショップ「さるかにバイオレンスから見えるもの」

ワークショップ「地域コミュニティの再生～食を通して職をつくる、地域をつくる～」

ミニ講座「まちづくりにおける女性の社会的起業の意義」

ワークショップ「国連女性差別撤廃委員と語る日本の課題」

ワークショップ「心でわかるワーク・ライフ・バランス  
～プレイバックシアターを使って～」

29日(日) ワークショップ「これからの男性のワーク・ライフ・  
バランスを考える～老若男女が自分らしく生きるために～」

(ワークショップについては、1人ずつ違うワークショップに参加した場合があります。)



★研修を終えて・・・

1,200人強のパワーあふれる女性の集いに圧倒されながらの参加でした。参加したワークショップはどれも盛況で内容は魅力あるものばかりでした。女は女らしく、男は男らしくの時代を垣間見てきた私にとって研修は時代の変化と変革を感じさせるものでした。今回、出会った方々から様々な学びがあります。皆様に感謝すると同時に大きな課題もいただいた気がします。自分の足元を見つめ、出来ることから始めよう。あせらずに・・・。

(鎌田静子さん)

このような社会活動や男女共同参画の意味や研修があることすらわからず、意識もせずに生活してきました。でも、何か人のお役に立ちたい、何をしたらよいのかと考えていたときに、この研修のことを知り、参加させていただくことになりました。全国から1,200人あまりの参加者の方が集まり女性パワーの凄さに圧倒され、ワークショップの数や内容の素晴らしさに感動しました。私の知らなかった世界が見えてきました。この貴重な経験で得たことを今後、自分の仕事や釧路市の社会活動、人々のためにお役に立っていただければと思います。

(仲田元子さん)

